

時事の話題

■景況について

消費税率が引き上げられて3週間が経過し、景気の先行きが注目される。本所では、消費税率8%が導入され10日ほど経った段階で、京都市内の中小企業を対象に、ヒアリング調査を実施した。全体としては、「現時点で売上に大きな影響は見られていない」との声が大半を占めている。価格転嫁の状況についても、小売業の一部でのみ「転嫁できない、転嫁は難しい」との声があったものの、多くの企業は問題がないようである。ただし、いくつかの企業は、現時点で影響はないが、今後影響が出てくると予想しており、具体的には、ゴールデンウィーク明けにあらわれ始めるといった意見もあった。もう少し経過を見て、状況を確認していくことが必要と思われる。

個人的には、消費税増税による経済への影響は一時的で、秋頃には落ち着き、再び成長路線に戻ると考えているが、そのためには政府の消費の落ち込み等への足元の積極的な対策のみならず、「経済の好循環」の実現に向けて、規制緩和や法人税減税などを早期に実現させ、景気の明るさが地域経済や中小企業にまで行き届くよう、経済最優先を貫いていただきたい。

幸い、京都を含む関西地区は国家戦略特区に指定された。特区を活用して、医療・ライフ分野の産業振興をはじめ、先端的で独創的な事業シーズによる新たな事業創造を加速させていく条件が整ったと受け止めている。本所としても、広く、関連のある会員企業の意見や要望をとりまとめたい。

京都商工会議所の動き

■第11回京都・観光文化検定試験について

本年度11回目の京都検定の実施概要がまとまったので、「公開テーマ」を発表する。3級には、多くの皆様に訪れていただきたいという思いもあり、エリアでテーマを設定し、「伏見・宇治」とした。2級は、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録され、話題性も高いことから「京の食文化」とした。1級については、今年20周年を迎える「世界文化遺産『古都京都の文化財』」を選んだ。試験日は12月14日(日)である。

東京オリンピックを控え、京都の底力、おもてなし力の向上、都市格向上を図っていきたい。そのためには、京都に住む人々が京都のまちを良く知り、こよなく愛することが、世界中から人々が集まる「世界交流首都」になる第一歩である。今年も、企業などからの団体受験をはじめ、京都市民・府民の方々にご受検いただきたい。また、全国各地の方々からもご受験いただき、幅広く、奥の深い京都の魅力にふれていただきたい。

■京都クリエイティブビジネス海外展開助成金の公募について

本所では、今年度より新たに、京都府、京都市と共に、『京都クリエイティブビジネス海外展開助成金』を創設した。京都の中小企業や団体、グループ等が実施する事業に対し総額600万円の助成金を交付する。この助成事業は、京都の優れたコンテンツやものづくり技術、サービス等の産業を広く海外に発信し、京都ブランドの価値向上や販路開拓につなげる事業に対して費用の一部を支援するものである。ぜひ、多くの方々に申請いただき、優れたプランを採択し、オール京都で海外ビジネス展開を後押ししていきたい。

記者からの質問事項

■消費税率引き上げに伴う影響について、秋頃には成長路線に戻るとおっしゃった要因は何か。また、牽引役として、期待する業種・業界があれば教えてほしい。

1～3月期の駆け込み需要による反動減で、4～6月期は若干景気が落ち込むが、7～9月期には、駆け込み需要期の前の景況に戻るだろう。また、秋以降、本格的な成長戦略が実行され、開発投資あるいは設備投資の部分で、経済全体が活性化しはじめると予想している。

また、しばしば成長領域といわれる医療・介護分野、資源エネルギー、農業などへの投資がひとつの機会となり、持続的成長の実現につながると思う。

■消費税率の引き上げに対する京都企業への影響を伺いたい。また、駆け込み需要に伴う反動減について、どういった声が届いているか。

今回の調査ではまだ企業数が少なく、全体像を捉えられていないので、4～6月期の様子をみる必要がある。また、自動車や住宅関連業界、一般消費財などで反動減による影響があったようで、会員企業からも心配する声は聞いている。

■消費増税対策について、京都商工会議所の独自の支援策があれば教えてほしい。

新たな取り組みというより、これまでの経営支援を通じた取り組みの延長線で、必要な支援・強化策を打っていく。

■観光客の調子が良く、景気を下支えしているようだが、観光客による経済波及効果について、どのように思っているか。

すでに、海外から相当な観光客が訪れているようで、今後も伸びていくとみている。その影響を受けて、観光産業を中心に大きな成長基盤になるだろう。

■関西地区が国家戦略特区の地域指定を受けたが、京都としてどういう受け止めをしているか。

関西地区が得意としている健康・医療分野を中心に、規制緩和が進展し、事業創造につながるチャンスを得た。京都、大阪、兵庫それぞれの考え方があろうが、各地の強みを計画に落とし込みながら、関西全体の経済成長にどうつなげていくのか、特別区域会議の中で議論されていくだろう。

■京都検定については、昨年から公開テーマ問題を設定しているが、そういったリニューアルの効果について、周囲からどういう声があるか。

公開テーマを事前に公表することで、勉強がしやすく、受験者などは良い受け止めをされているようだ。受験者が落ち込んだ頃もあったが、じわじわと受験者数も回復しているので、そういう傾向が続くように努力したい。

■リニア中央新幹線について、大阪府の松井知事の「今更、自治体がどうのこうのと言うべきでない」という発言を受け、どのように思っておられるか。

奈良は奈良、大阪は大阪、京都は京都と、それぞれに主張がある。京都駅ルートの経済波及効果の優位性をアピールすることでは、京都府、京都市、我々京都経済界も一致している。いずれにしても、国やJR東海、関西広域連合などで、関西地区にとって最適なルートを決定してもらいたい。

以上

平成26年 4月22日

消費税率引き上げに伴う緊急調査結果について

京都商工会議所

＜調査概要＞

- 調査目的：消費税率引き上げ後の小規模事業者の業況を把握するため
- 調査期間：平成26年4月11日（金）～15日（火）
- 調査対象：京都市内の中小企業72社
- 調査方法：本所経営支援員による聞き取り（訪問または電話）

＜回答状況＞

	製造業 (11社中)	卸売業 (7社中)	小売業 (24社中)	建設業 (5社中)	サービス業 (25社中)	総回答数 (72社中)
駆け込み需要あり	4	5	4	1	3	17
反動減あり・売り上げ減少	2	3	6	1	4	16
転嫁できない・難しい	0	0	4	0	1	5
値下げ圧力・依頼あり	2	0	1	0	0	3

＜具体的な声＞

- ・向こう2、3ヶ月様子を見て、料金を上乘せするか決める（理容業）
- ・4月から売り上げが目に見えて減少した（洋菓子製造・販売業）
- ・5月連休明けの落ち込みを予想している（タクシー業）
- ・取引先からの値下げ圧力は年中あり、消費税を理由にしたものはない（呉服製造・販売業）
- ・資材の高騰が続くなかコストダウンを要請され、付き合いもあり断れず、経営は大変苦しい（金属加工業）



第11回京都・観光文化検定試験実施概要

- 主催** 京都商工会議所
- 後援** 国土交通省近畿運輸局、京都府、京都市、公益財団法人大学コンソーシアム京都
- 試験日** 平成26年 12月14日(日)
- 試験会場** 【京都】 京都市内の大学等 【東京】 東京の大学等

申込方法

団体申込	申込期間	9月1日(月)～10月31日(金)
	受験料	1級：5,190円／2級：3,460円／3級：2,600円
一般申込	申込期間	9月1日(月)～11月10日(月)
	申込方法	①インターネット ②コンビニ端末 ③郵送
	受験料	1級：6,480円／2級：4,320円／3級：3,240円

- 受験資格**
- ・学歴・年齢・性別・国籍等の制限はありません
 - ・1級試験の受験は、2級合格者に限ります

- 試験級**
- 1級 京都全般に関する「高度な知識レベル」
 <制限時間> 13:30～ 90分
 <出題> 記述式：語句・穴埋め問題60問以内・小論文5問以内
 <合格> 80%以上の正解をもって合格
- 2級 京都全般に関する「やや高度な知識レベル」
 <制限時間> 13:30～ 90分
 <出題> 四者択一100問以内
 <合格> 70%以上の正解をもって合格
- 3級 京都全般に関する「基本的なレベル」
 <制限時間> 10:00～ 90分
 <出題> 四者択一100問以内
 <合格> 70%以上の正解をもって合格

- 出題範囲** 歴史・史跡、神社・寺院、建築、庭園、美術、伝統工芸、伝統文化、花街、祭と行事、京料理、京菓子、ならわし、ことばと伝説、地名、自然、観光 京都に関すること全般

公開テーマ (各級10問を下記テーマで出題します)

- 【3級】…伏見・宇治エリア
- 【2級】…京の食文化
- 【1級】…世界文化遺産「古都京都の文化財」

以上

Fund of Kyoto Creative Business for international promotion

平成26年度京都クリエイティブ ビジネス海外展開助成金

～中小企業の海外プロモーションを支援します～

■ 助成金総額

600万円 (1件あたり50～150万円程度を想定)

■ 募集期間

平成26年4月24日(木)～5月30日(金)

京都府・京都市・京都商工会議所では、今年度より、新たに『京都クリエイティブビジネス海外展開助成金制度』を創設いたしました。この助成金制度は、京都の優れたコンテンツ、ものづくり技術、サービス等の産業を広く海外に発信し、京都ブランドの価値向上、販路開拓等に資するとともに、京都産業発展に寄与する事業に対して、経費の一部を助成するものです。

右記の要領により、平成26年度の助成金申請の受付を開始いたします。

～ 申請事業のイメージ ～



写真はイメージ

例えば……

西陣織や京友禅の技術を活用して
専門家のアドバイスを受けながら新商
品を開発し、海外の展示会等に出展
することで販路開拓を目指す事業

● 申請書、交付要綱は、京都商工会議所HPよりダウンロードできます。
⇒http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/news_098490.html

■ お問合せ・申請先

京都商工会議所 産業振興部 ブランド推進担当

TEL:075-212-6450

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル

京都商工会議所ビル6階

■ 募集事業

京都の優れたコンテンツ、ものづくり技術、サービス等の産業を広く海外に発信し、京都ブランドの価値向上、販路開拓等に資する事業

■ 助成対象者

京都府内に事業所を有する中小企業、団体、グループ等

■ 助成対象経費

旅費、滞在費、会場費、通信運搬費、雑役務費、印刷製本費、広告宣伝費、委託費等

■ 申請手続き

「京都クリエイティブビジネス海外展開助成金交付申請書」と「直近1期分の決算書の写し」を各1部提出してください。

■ その他

◇書類選考の上、審査委員会にて事業の効果等を勘案し、交付の可否及び交付金額を決定します。

◇一次審査通過者には、審査委員会への出席(事業計画のプレゼンテーション)及び、追加書類(法人登記事項証明書、京都府税・京都市税の納税証明書等)のご提出をお願いいたします。

京都クリエイティブビジネス海外展開助成金制度

◎審査委員会 委員名簿

[順不同・敬称略]

<委員長>

京都商工会議所 京都ブランド推進特別委員会 副委員長 内田 隆
 (京都青果合同株式会社 代表取締役社長)

<委員>

京商クリエイティブビジネス研究会 委員長 中西 真也
 (株式会社リーフ・パブリケーションズ 代表取締役社長)

株式会社京都新聞社 取締役 編集局長 仁田 一明

近畿経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 サービス産業室長 内海 美保

京都府 商工労働観光部 ものづくり振興課長 森木 隆浩

京都市 産業観光局 産業戦略部 産業政策課長 原 昭彦

京都商工会議所 産業振興部 部長 才寺 篤司

◎今後のスケジュール

4月22日 午後2時	プレスリリース
4月24日～5月30日	募集期間
6月中旬～7月初旬	第1次審査(書類選考)
7月初旬	最終審査(審査委員会におけるプレゼンテーション)
7月下旬	結果通知